SAKAI
坂井市

地震ハザードマップ

丸岡城天守閣

震災時の状況

東十郷村道路

保存版

このハザードマップは、定期的に配布されるものではありません。
大切に保管し、いつも目のつくところに置いてご活用ください。

発行：坂井市 総務部 総務課安全対策室
福井県坂井市坂井町下新庄1-1
TEL　0776-50-3525

丸岡城天守閣（坂井市撮影）
震災時の状況（岡崎重男撮影）
東十郷村道路（福井地方気象台撮影）

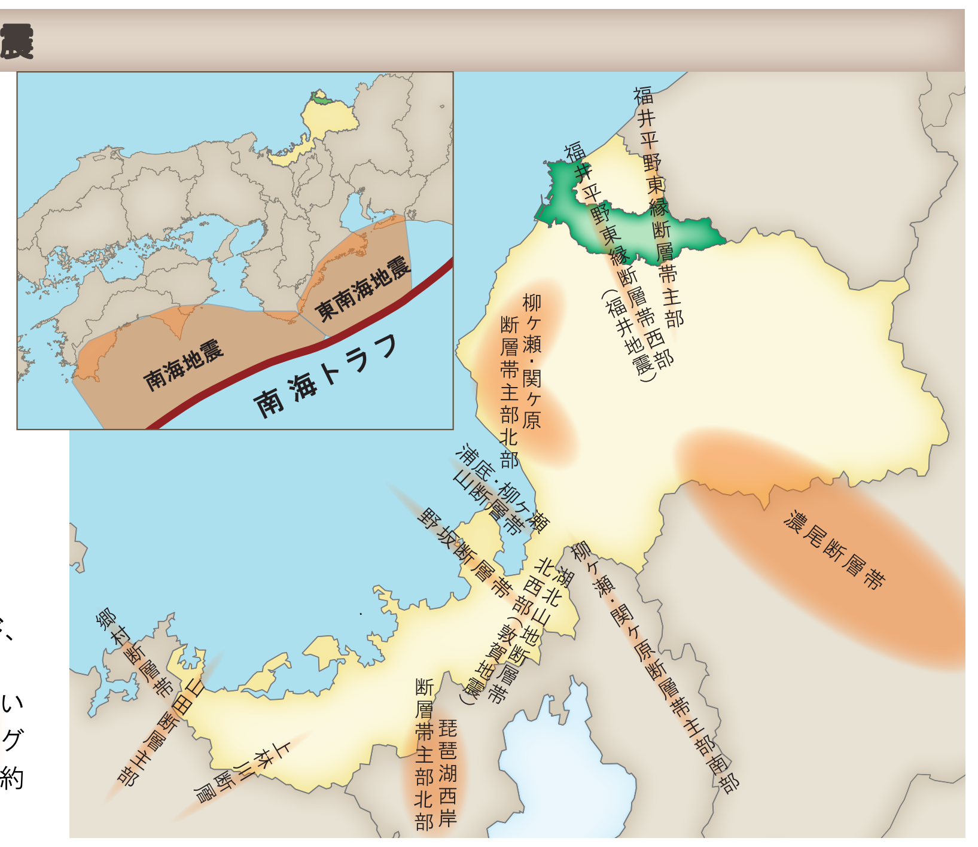
■周辺の大地震　～大地震はいつどこで起きてもおかしくありません!～

近年、各地で洪水や地震などの自然災害が多発しており、坂井市においても、同様の地震が発生する可能性があります。阪神・淡路大震災では、亡くなられた方の約９割が、住宅の倒壊や家具の下敷きなどによる圧迫死や窒息死であったとされています。住まいの耐震化や家具の固定など、身近な地震対策からはじめましょう。

周辺で起こりうる主な地震

周辺で起こりうる地震	想定M	今後30年以内の地震発生確率
福井平野東縁断層帯(主部)	7.6	ほぼ0～0.07%
福井平野東縁断層帯(西部)	7.1	――（注）
柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯(主部北部)	7.6	ほぼ0%

出典：地震調査研究推進本部の公表値
（評価時点：平成23年1月1日）
（注）断層の平均活動間隔が判明していないため、発生確率を求めることができない。



〔震度とマグニチュード〕

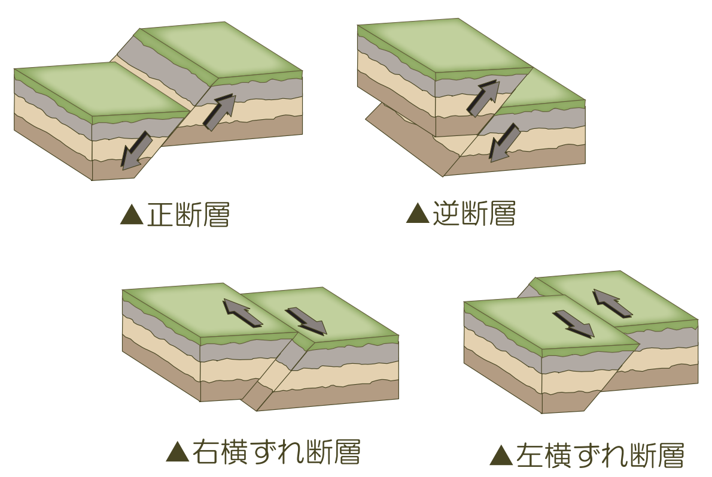
地震そのものの規模の単位を**マグニチュード**、地面が揺れる大きさを**震度**と呼びます。

マグニチュードが大きい地震でも、震源が遠い場合や深い場合は、**震度**が小さくなります。マグニチュードが1増えると、地震のエネルギーは約32倍にもなります。

■地震が起こるしくみ

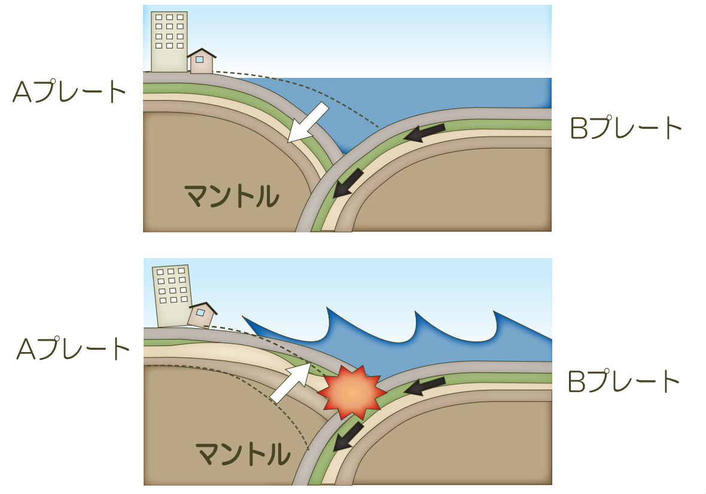
活断層地震

地下の岩盤に、押し合う力や引っ張り合う力が加わることで、内部にひずみのエネルギーが溜まり、これが限界に達したときに、ある面（断層面）を境に地盤がずれ動き、地震が起こります。

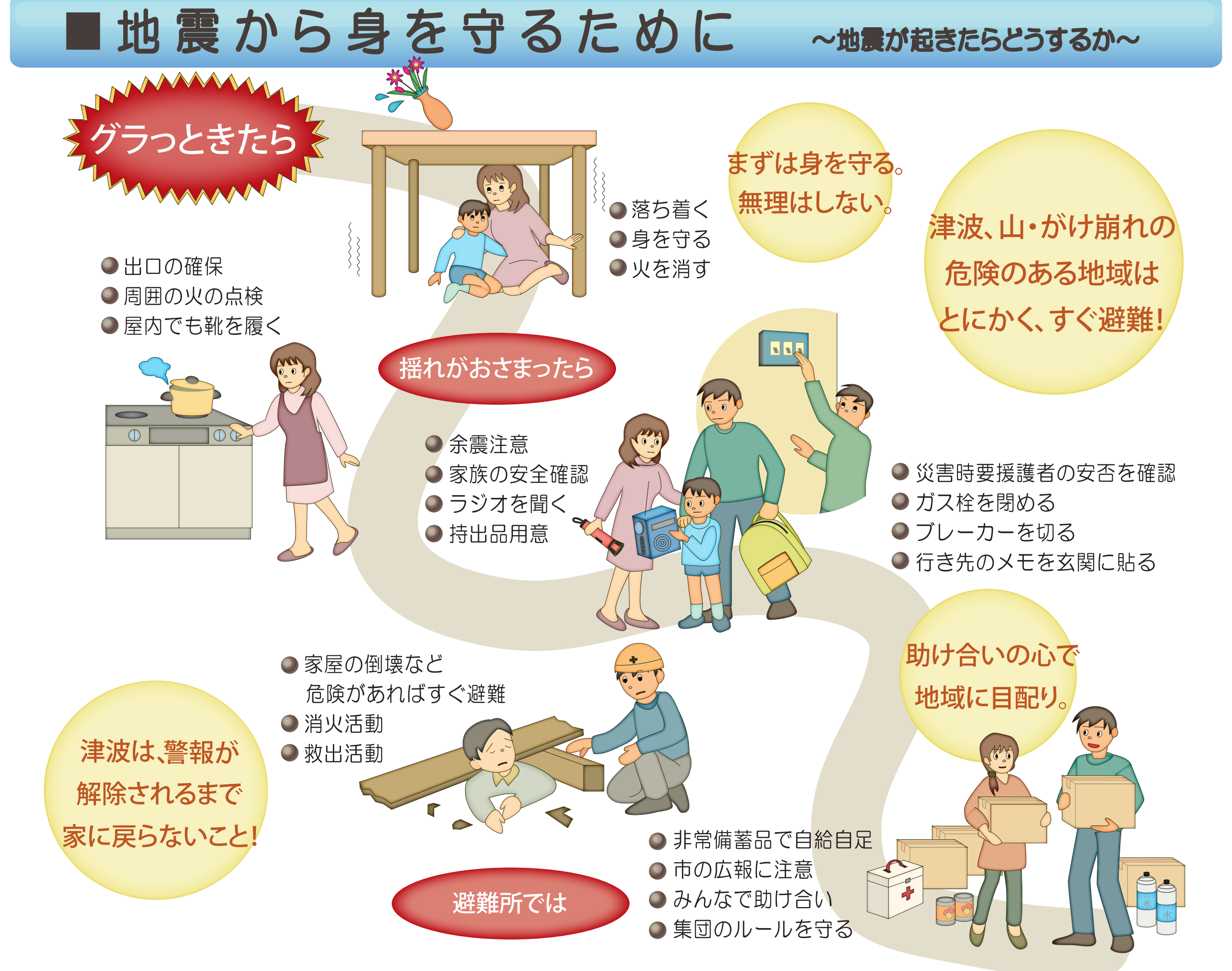

▲正断層　▲逆断層
▲右横ずれ断層　▲左横ずれ断層

海溝型(プレート境界型)地震

海側のBプレートが陸側のAプレートの下にもぐりこむことで、境界にひずみのエネルギーが溜まり、これが限界に達したときに、プレートがもとにもどろうとしてはね上がり、地震が起こります。



■地震から身を守るために　～地震が起きたらどうするか～



グラっときたら

- 落ち着く
- 身を守る
- 火を消す

まずは身を守る。無理はしない。

- 出口の確保
- 周囲の火の点検
- 屋内でも靴を履く

揺れがおさまったら

- 余震注意
- 家族の安全確認
- ラジオを聞く
- 持出品用意

- 災害時要援護者の安否を確認
- ガス栓を閉める
- ブレーカーを切る
- 行き先のメモを玄関に貼る

津波、山・がけ崩れの危険のある地域はとにかく、すぐ避難!

- 家屋の倒壊など危険があればすぐ避難
- 消火活動
- 救出活動

助け合いの心で地域に目配り。

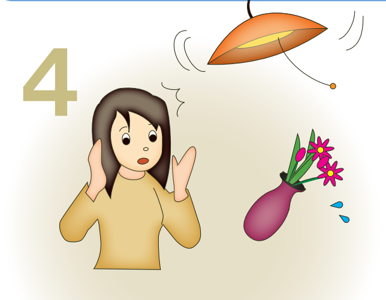
津波は、警報が解除されるまで家に戻らないこと!

避難所では

- 非常備蓄品で自給自足
- 市の広報に注意
- みんなで助け合い
- 集団のルールを守る

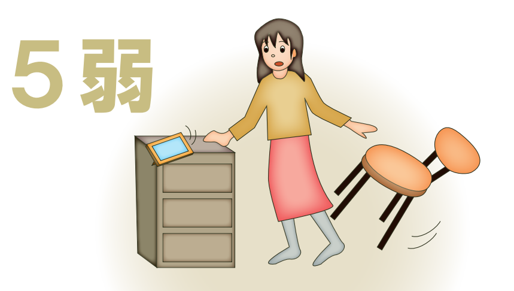
■震度と想定される被害　～震度による人や建物、家具への影響～

4



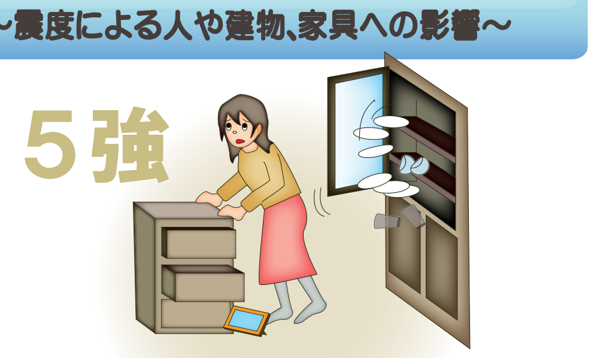
ほとんどの人が驚く。電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。座りの悪い置物等が、倒れることがある。

5弱



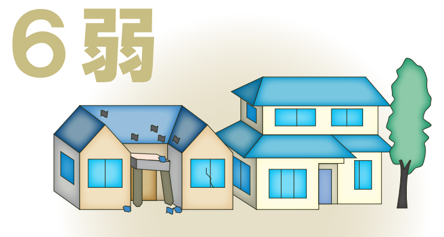
大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。

5強



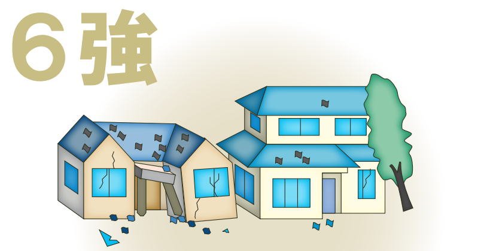
物につかまらないと歩くことが難しい。棚にある食器類や本で落ちるものが多くなる。ブロック塀が崩れることがある。

6弱



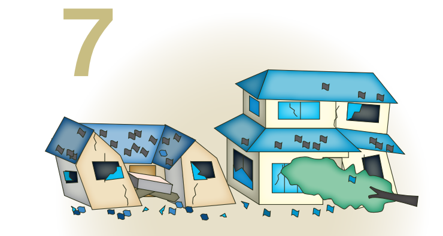
立っていることが困難になる。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

6強



はわないと動くことができない。耐震性の低い木造建物は、倒れるものが多くなる。大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

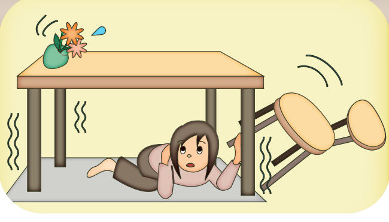
7



耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに多くなる。耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが多くなる。

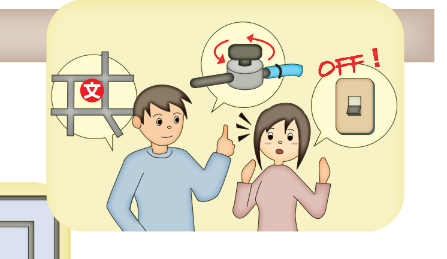
■地震発生時の行動　～身の安全を確保し、落ち着いて避難しましょう!～

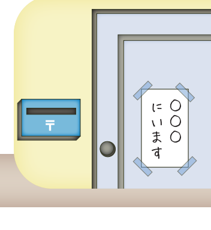
身の安全確保、火元確認



- ぐらっと来たら、**頭を保護**して、丈夫な机の下などに避難。
- 揺れがおさまったら、ドアや窓を開けて、**出口を確保**。
- 出火を確認。火が出た時は、すばやく**消火**。無理はしない。

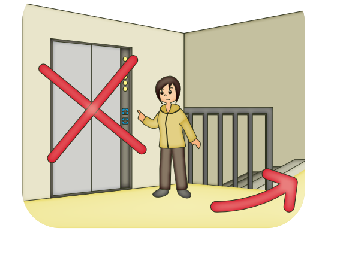
安否確認、避難準備





- 長袖、長ズボン、底の厚い靴など**安全な服装**で。
- 家族や高齢者、乳幼児、障害のある方など、**みんなの安否**を確認。
- 家を出る前は、**火元**を確認。
  ブレーカーを落とす、ガスの元栓を閉じるなど。
- 家から離れる時は、**避難先**や安否の情報を玄関に貼る。

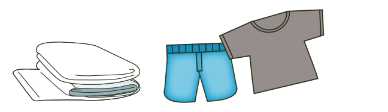
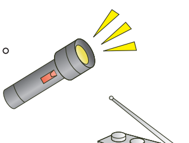
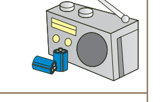
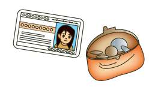
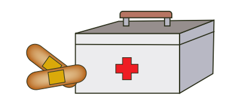
避　難



- あわてて外に**飛び出さない**。落下物や車、足元に注意。
- 建物や看板、自動販売機のそばや細い路地を避け、**広い道**を徒歩で避難。
- エレベーターには乗らない、**階段**で避難。
- 運転中の時は、ハザードランプをつけて、**ゆっくり減速**。
- 海岸から離れて、**高台**へ。

■非常時持ち出し品　～必要最小限のものを、常備しておきましょう!～

定期的に非常用持ち出し品を☑チェックしておきましょう。

□非常食	飲料水、缶詰、お菓子、乾パン	飲料水・食品は３日分程度用意し、定期的に点検、交換する。 食品は調理せず食べられるもの。
	割り箸、紙皿、紙コップ、缶きり、栓抜き	
□衣類寝具	下着、靴下、防寒具、雨具、タオル	
	ハンカチ、寝袋、毛布、使い捨てカイロ	
□防災用品	携帯ラジオ、懐中電灯、予備電池、万能ナイフ	懐中電灯は１人に１個。 ラジオはFMとAMの両方聞けるものが良い。
	ロープ、マッチやライター、ろうそく、周辺地図	
	ホイッスル(緊急合図用)、ビニールシート(敷物、雨よけ用)	
	ヘルメット、マスク、軍手	
□貴重品	現金、10円玉(公衆電話用、多めに)、預貯金通帳	コピーを取れるものはあらかじめ取っておく。
	印鑑、健康保険証、運転免許証、証書類	
□救急医療品	消毒液、傷薬、ばんそうこう、包帯	使用期限を確認しておく。
	風邪薬、胃腸薬、常備薬	
□日用品	洗面具、ティッシュ、ゴミ袋、筆記用具	赤ちゃんのいる場合はミルクや哺乳瓶や、妊婦さんに必要な母子手帳、ペットのいる場合は食料なども確認。
	予備のめがね、生理用品、介護用品	

地震豆知識　阪神大震災の避難生活では、こんなものが役立ったよ。
10円玉、ドライシャンプー、ボディー洗浄剤、ホイッスル、ポリタンク、携帯コンロ、バール、ブルーシート、予備の眼鏡、補聴器、自転車など

わが家の防災メモ

火事・救急	警　察	災害用伝言ダイヤル
119番	110番	171番

安否情報の確認　～災害時用伝言ダイヤル・災害時用伝言板の使い方～

地震などの災害時には、一般電話などがつながりにくくなります。
災害時に家族や知人の安否確認ができるよう、非常時の連絡方法を覚えておきましょう。

●災害用伝言ダイヤル「171」

伝言の録音
171 → 1 → 被災した-家の-電話番号 → 伝言を預ける（30秒以内）
ガイダンス（説明）がながれます。
被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を市外局番からプッシュする。

伝言の再生
171 → 2 → 被災した-家の-電話番号 → 伝言を聞く
ガイダンス（説明）がながれます。
被災者は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を市外局番からプッシュする。

災害時伝言ダイヤル「**171**」は、被災地への通信が増加してつながりにくくなった時に提供される、NTTのサービスです。サービスの開始は、テレビ・ラジオ等でお知らせがあります。ご利用には通話料のみ必要です。

※ご利用には被災した家の**市外局番**と電話番号が必要です。家族・知人の連絡先を控えておきましょう。

●携帯電話の災害用伝言板

な　が　れ
「伝言板にアクセス」⇒⇒「登録」

au（KDDI）
NTT ドコモ
ソフトバンク
WILLCOM（ウィルコム）
→ トップメニュー → 災害用伝言版

※災害時に開設されます。
（震度６弱以上の地震など）

※毎月１日、正月三が日、防災週間、防災ボランティア週間には、体験利用ができます。
使い方を確認しておきましょう。

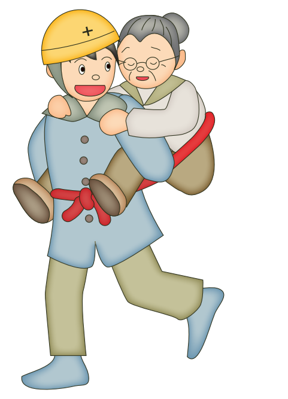
☆☆ 防災、防犯など安全・安心の生活情報(福井県メールマガジン)☆☆

福井県は、防災関連情報、くらしのトラブル情報など生活関連情報の電子メール配信サービスを行っています。無料の購読申込みを行えばすぐに利用できます。

パソコンで利用	http://www2.pref.fukui.jp/melma/
携帯電話で利用	http://www2.pref.fukui.jp/melma/k/

■災害時要援護者への支援　～地域で助け合いましょう!～

高齢者や乳幼児、または障害のある方など、災害時にさまざまな助けを必要とする人たちが、たくさんいます。地域が一丸となって、要援護者を守るための対策をこころがけましょう。

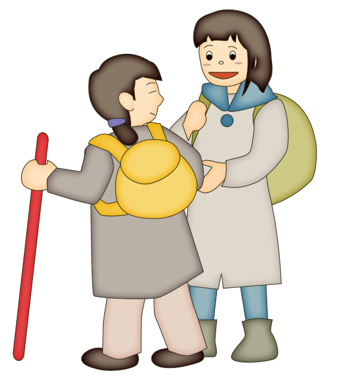


耳が不自由な方

- 話すときは口を大きく動かすようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で、正確な情報を伝える。

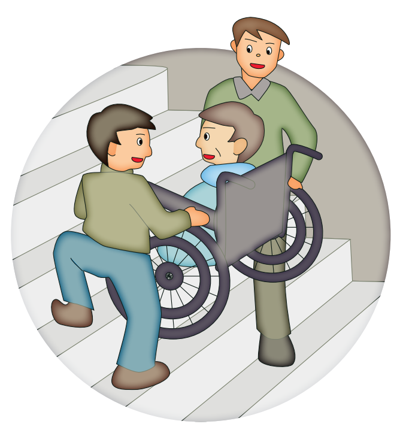
目が不自由な方

- 声をかけて情報をしっかりと伝える。
- 杖を持ったほうの手には触れず、ひじの辺りに軽く手を添え、誘導する。



高齢者や寝たきりの方

- 緊急時は背負って安全な場所に移動する。
- 不安にさせないように声をかける。



車イス利用の方

- 階段を使って移動する場合は、必ず２人以上で行い、上りは前向きに、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介護者が１人の場合は、ひもなどを利用して背負って移動する。

■自主防災組織の結成　～地域で一丸となって防災力を高めましょう!～

- 大規模な災害が発生したら･･･

被害を最小限に食い止めるため、行政機関などは総力をあげて、救援活動に取組みます。しかし、災害の規模が大きくなると、行政機関のみでは、十分な活動ができない場合が想定されます。

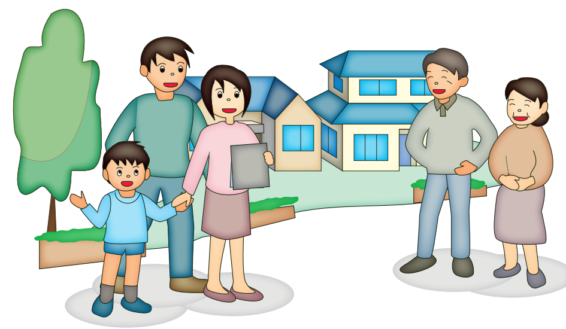
阪神・淡路大震災では、
阪神・淡路大震災では、倒壊した家の下敷きになったことで、多くの犠牲者が出ましたが、助け出された人の大半が、近所の方々によって救出されました。

- 自主防災組織とは･･･

地域の方々がお互いに協力し、災害から自分たちの地域を守るために結成される組織です。

地震に限らず、風水害や火災など、いつ災害が起こるかわかりません。いざというときには、隣近所の協力、助け合いが非常に大切です。

日頃から、ご近所同士のコミュニケーションを深め、互いに協力しながら、防災活動に取組むことが重要です。

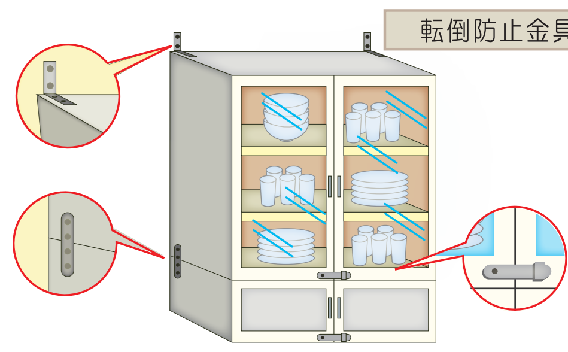


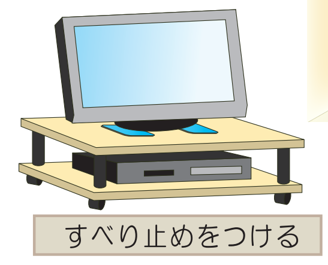
自主防災組織等に関するご相談は、
坂井市 総務部 総務課安全対策室 までお問い合わせ下さい。

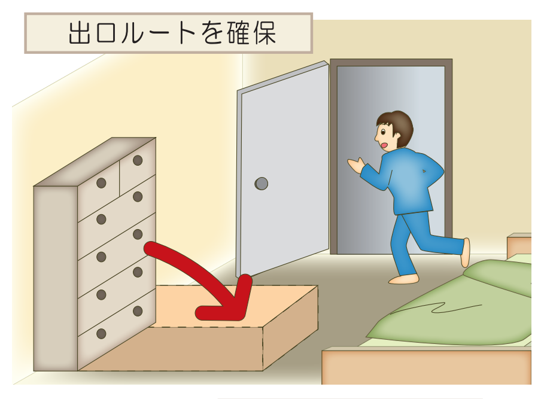
■被害を防ぐポイント　～家の中や周辺の安全対策を心がけましょう!～

家の中の安全確認

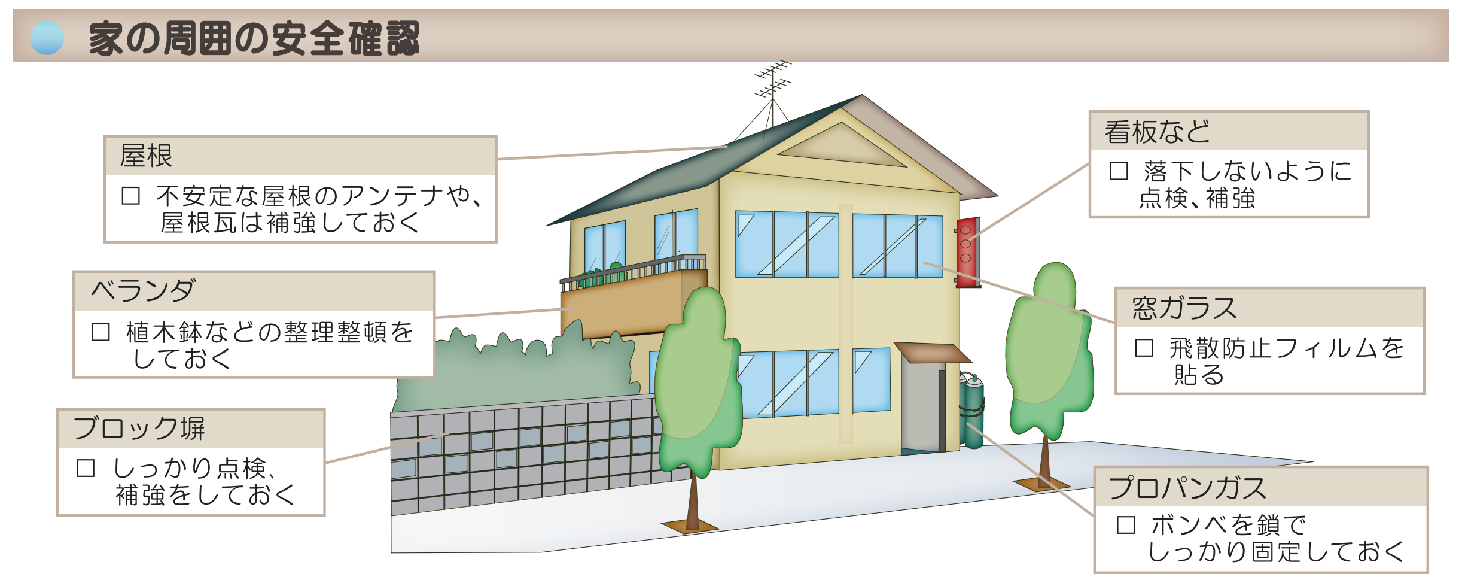
□ 戸建住宅などの場合、できるだけ１階で寝ることは避ける
□ 部屋の**入り口付近**には物を置かないようにする
□ 棚やタンスなどの家具には、**転倒防止金具**を取り付ける
□ テレビや置物などには、**すべり止め**を取り付ける


転倒防止金具をつける


すべり止めをつける


出口ルートを確保
家具の配置に注意

家の周囲の安全確認



屋根
□ 不安定な屋根のアンテナや、屋根瓦は補強しておく

ベランダ
□ 植木鉢などの整理整頓をしておく

ブロック塀
□ しっかり点検、補強をしておく

看板など
□ 落下しないように点検、補強

窓ガラス
□ 飛散防止フィルムを貼る

プロパンガス
□ ボンベを鎖でしっかり固定しておく

ブロック塀の安全対策

① 鉄　筋……………縦筋と横筋が固定されて入っているか
□ 直径9mm以上の鉄筋を縦・横方向に80cm以下の間隔で入れる。
□ 特に縦筋は基礎から壁頂まで1本のものにする。

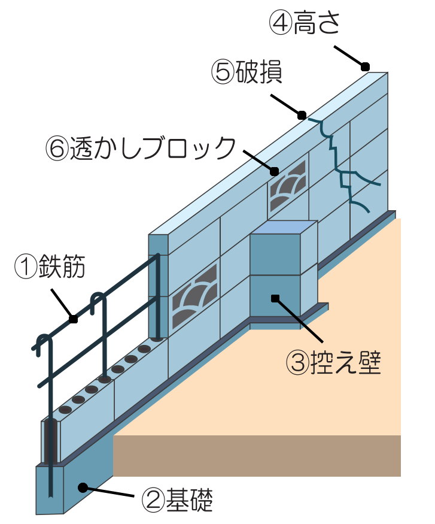
② 基　礎……………しっかりしているか
□ 30cm以上地盤に埋めこむ。

③ 控え壁……………支えの控え壁は設置されているか
□ 高さ1.2mを超える塀は、長さ3.4m以下の間隔で控え壁を設置。
□ 控え壁にも鉄筋を入れ、塀とつなぐ。

④ 高　さ……………高すぎないか
□ 高さは2.2mを超えないようにする。

⑤ 破　損……………傾きやひび割れ、破損箇所はないか
□ あれば補修を行う。

⑥ 透かしブロック…多くないか
□ 多いと壁の強度が低下するため、連続した配置は禁物。



地震保険について

地震を原因とする火災、損壊、埋没または流失による損害を補償する地震災害専用の保険です。
地震保険は、火災保険に付帯する方式での契約となり、火災保険への加入が前提となります。
詳しくは、各損害保険会社の相談窓口または代理店にご相談ください。

■誰でもできるわが家の耐震診断　～安全性を確認しましょう!～

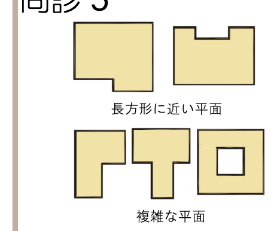
巨大地震の被害から命を守るためには、住宅の耐震性を高めることが必要です。
一般の木造住宅（１～２階建）は、下の表を使って簡易的に診断が行えます。

出典：「誰でもできるわが家の耐震診断」（財）日本建築防災協会

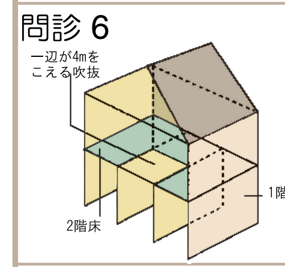
	問　診 [説　明]	項　目	評点	
1	建てたのはいつ頃ですか？ 1981年6月に建築基準法が改正され、耐震基準が強化されました。1995年阪神淡路大震災において、1981年以降建てられた建物の被害が少なかったことが報告されています。	建てたのは1981年6月以降	1	
		建てたのは1981年5月以前	0	
		よく分からない	0	
2	いままでに大きな災害に見舞われたことはありますか？ ご自宅が長い風雪のなかで、床下浸水・床上浸水・火災・車の突入事故・大地震・崖上隣地の崩落などの災害に遭遇し、わずかな修復だけで耐えてきたとしたならば、外見では分からないダメージを蓄積している可能性があります。この場合専門家による詳しい調査が必要です。	大きな災害に見舞われたことがない	1	
		床下浸水・床上浸水・火災・車の突入事故・大地震・崖上隣地の崩落などの災害に遭遇した	0	
		よく分からない	0	
3	増築について 一般的に新築してから15年以上経過すれば増築を行う事例が多いのが事実ですが、その増築時、既存部の適切な補修・改修、増築部との接合をきちんと行っているかどうかがポイントです。	増築していない。または、建築確認など必要な手続きをして増築を行った	1	
		必要な手続きを省略して増築し、または増築を2回以上繰り返している。増築時、壁や柱を一部撤去するなどした	0	
		よく分からない	0	
4	傷み具合や補修・改修について お住いになっている経験から、建物全体を見渡して判断して下さい。屋根の棟・軒先が波打っている、柱や床が傾いている、建具の建付けが悪くなったら老朽化と判断します。また、土台をドライバー等の器具で突いてみて「ガサガサ」となっていれば腐ったり白蟻の被害にあっています。とくに建物の北側と風呂場廻りは念入りに調べましょう。白蟻は、梅雨時に羽蟻が集団で飛び立ったかどうかも判断材料になります。	傷んだところは無い。または、傷んだところはその都度補修している。健全であると思う	1	
		老朽化している。腐ったり白蟻の被害など不都合が発生している	0	
		よく分からない	0	
5	建物の平面はどのような形ですか？ 整形な建物は欠点が少なく、地震に対して建物が強い形であることはよく知られています。反対に不整形な建物は地震に比較的弱い形です。そこでまず、ご自宅の1階平面形が大まかに見て、長方形もしくは長方形と見なせるか、L字型・コの字型等複雑な平面になっているかのか選びとって下さい。現実の建物は凸凹が多く判断に迷うところですが　ア)約91cm(3尺)以下の凸凹は無視しましょう。　イ)出窓・突出したバルコニー・柱付物干しバルコニーなどは無視します。	どちらかというと長方形に近い平面	1	
		どちらかというとLの字・Tの字など複雑な平面	0	
		よく分からない	0	
6	大きな吹き抜けがありますか？ 外見は形の整っている建物でも大きな吹抜があると、地震時に建物をゆがめる恐れがあります。ここでいう大きな吹抜とは一辺が4m(2間)をこえる吹抜をいいます。これより小さな吹抜はないものと扱います。	一辺が4m以上の大きな吹抜はない	1	
		一辺が4m以上の大きな吹抜がある	0	
		よく分からない	0	
7	1階と2階の壁面が一致しますか？ 2階の壁面と1階の壁面が一致していれば、2階の地震力はスムーズに1階壁に流れます。2階壁面の直下に1階壁面がなければ、床を介して2階の地震力が1階壁に流れることとなり、床面に大きな負荷がかかります。大地震時には床から壊れる恐れがあります。枠組壁工法の木造(ツーバイフォー工法)は床の耐力が大きいため、2階壁面の直下に1階壁面がなくても、評点1とします。	2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がある または、平屋建であるまたは、枠組壁工法の木造(ツーバイフォー工法)である	1	
		2階外壁の直下に1階の内壁または外壁がない	0	
		よく分からない	0	
8	壁の配置はバランスがとれていますか？ 壁の配置が片寄っていると、同じ木造住宅の中でも壁の多い部分は揺れが小さく、壁の少ない部分は揺れが大きくなります。そして揺れの大きい部分から先に壊れていきます。ここでいう壁とは約91cm(3尺)以上の幅を持つ壁です。せまい幅の壁はここでは壁とみなしません	1階外壁の東西南北どの面にも壁がある	1	
		1階外壁の東西南北各面の内、壁が全くない面がある	0	
		よく分からない	0	
9	屋根葺材と壁の多さは？ 瓦は優れた屋根葺材のひとつです。しかし、やや重いため採用する建物ではそれに応じた耐力が必要です。耐力の大きさは概ね壁の多さに比例しますので、ご自宅は壁が多い方かどうか判断して下さい。	瓦など比較的重い屋根葺材であるが、1階に壁が多い。または、スレート・鉄板葺・銅板葺など比較的軽い屋根葺材である	1	
		和瓦・洋瓦など比較的重い屋根葺材で、1階に壁が少ない	0	
		よく分からない	0	
10	どのような基礎ですか？ 鉄筋コンクリートによる布基礎・ベタ基礎・杭基礎のような堅固な基礎は、その他の基礎と比べて同じ地盤に建っていても、また同じ地震に遭遇しても丈夫です。改めてご自宅の基礎の種別を見直して下さい。	鉄筋コンクリートの布(ぬの)基礎またはベタ基礎・杭基礎	1	
		その他の基礎	0	
		よく分からない	0	

参考図

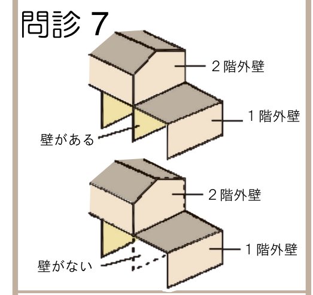
問診 5



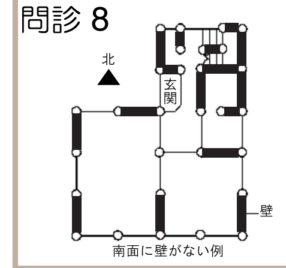
問診 6



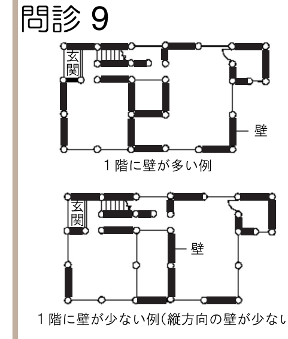
問診 7



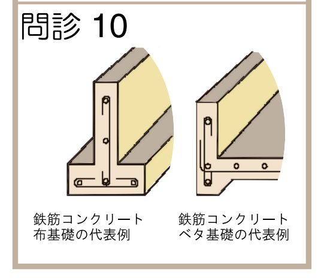
問診 8



問診 9



問診 10


鉄筋コンクリート布基礎の代表例
鉄筋コンクリートベタ基礎の代表例

問診1～10 評点を合計　評点合計 □ ⇒

10点	＊＊＊	ひとまず安心ですが、念のため専門家に診てもらいましょう
8～9点	＊＊	専門家に診てもらいましょう
7点以下	＊	心配ですので、早めに専門家に診てもらいましょう